10　家庭

学校番号	４１７

平成３１年度　家庭科

教科	家庭	科目	生活デザイン	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「生活デザイン」（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう
〇家庭生活に関する知識・技術を体験的に学び、生活に生かせる技術を身につけます。
・家庭生活の様々な現象や課題を学び、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、実際の生活に活かしていけるようにしましょう。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を体験的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、食生活、保育、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、食生活、保育、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、食生活、保育、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、食生活、保育、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート、発表、グループワーク、 自己評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果、グループワーク、 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果、自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 グループワーク、レポート、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	自分らしい生き方と家族	○自分を見つめる ＊これまでの自分を振り返って ○自立した生き方、共に生きる人生 ・自分らしく生きることと、ともに生きること	○ ○	○ ○	○ 	○ ○	a: 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持ってとりくもうとしている。 b: 人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 c: 自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。 d: 自分自身や現在の社会状況を客観的に知り、将来を見通した人生設計への課題をみつけることができる。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 自己評価 相互評価 定期考査
1学期	自分らしい生き方と家族	○共に生きる家族 ・家族って何だろう ・パートナーとの出会い ・変化していく家族・家庭	○	○	○	○	a: 結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味・関心をもとうとしている。 b: 図表などから家族の形、家庭のあり方や役割について、また時代とともに変化した背景について読みとることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができる。 c: 家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらには、現在の家族の抱える問題・課題などについて、資料や書籍などから情報を収集し、自らの考えをまとめることができる。 d: 結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査

1学期	自分らしい生き方と家族	○家族に関する法律 ○私たちの生活を支える労働と生活時間 ・職業に就く ・多様化する職業形態 ・家庭や地域での仕事 ・共に働く	○ ○	○	○	○ ○	a: 労働の意義や役割、労働時間と生活時間との関わりについて関心をもち、現在の家族・家庭がかかえる課題を見いだそうとする。 b: 家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な背景も考慮しながら原因を推測し、解決へ導くために考えることができる。 c:現代の職業形態や雇用形態に関する資料から自らの意見やや将来のことを考え、まとめることができる。 d: 生活にかかわる労働の意義、また、現在の労働環境などについて理解できる。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 定期考査
2学期	子どもとかかわる	○子どもを知る ・未熟なだけではない子ども ・すこやかな育ちのために	○	○	○	○	a: 子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的に理解しようとする。 b: 最も身近な存在である親や家族が子どもの心身の健やかな発達のために、どのようにかかわったらよいか、保育の在り方について考えることができる。 c: 子どもとの接し方を模擬体験を通して身につけることができる。 d: 生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 定期考査
2学期	子どもとかかわる	○発達のすばらしさ ・人の発達と保育 ・からだの発達 ・心の発達	○	○	○	○	a: 子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。 b: 子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 c: 子どもの生活にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。 d: 子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査

2 学 期	子どもとかかわる	○子どもの生活 ・子どもの成長と生活 *子どもと遊び ○親になることを考えよう ・子どもを生み育てるということ ○すこやかに育つ環境	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a: 生命の尊さについて、自分の現在、将来と結びつけながら、学習しようとする意欲がある。 b: 子どもを生み育てるの意義について、さまざまな子どもの育つ生活や環境から考えることができる。 c:現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。 d: 子どもの発達段階において、子どもをとりまく人とのかかわり、地域環境・社会環境の重要性、子どもの福祉について理解できる。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 定期考査
2 学 期	高齢者とかかわる	○高齢者に生きる私たちの暮らし ・高齢社会の状況 ○高齢者を知る ・高齢者の心身の変化 ・高齢者の生活 ・高齢者の生活の課題	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a: 高齢社会の現状、これ医者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている。 b: 高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 c: 高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d: 高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査
3 学 期	食生活をつくる	○私たちの食生活 ・今の食卓は日本の食卓の課題 ・食を楽しむ ○栄養と食品のかかわり ・食品の栄養素とからだの成分 ・炭水化物とその食品	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a: 自分自身の食生活について関心をもつとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。 b: 自身の食生活や現在の食生の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決にむけての判断ができる。 c: 栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら、栄養バランスのとれた食事を考える力を身につけている。 d: 食事の意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 自己評価

3 学 期	食生活をつくる	○栄養と食品のかかわり ・脂質とその食品 ・たんぱく質とその食品 ・ミネラルとその食品 ・ビタミンとその食品 ○食品の選び方と安全 ・食品の表示と保存 ・食品の衛生と安全	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a: 栄養素や食品の選び方について、自らの食生活と比較しながら、食事に関する意識を高めようとしている。 b: 栄養の機能と食品のかかわり、また食品の特性と調理との関係において、科学的な思考を身につけ、食品選択の判断ができる。 c:食品の腐敗や変敗、食中毒、食品添加物などについて理解させ、食生活を安全で衛生的に営む力を身に付けている。 d: 栄養・食品に関する科学的な知識を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。	授業観察 ワークシート 定期考査
3 学 期	消費行動を考える	○社会の変化と消費生活 ・適切な選択をするために ・「買う」ことは「契約」 ・多様化する販売方法 ○消費者の権利と責任 ・消費者の権利を守るために	○ ○	○ ○	○	○ ○	a: 自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。 b: 消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。 c: 消費行動について、さまざまな情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。 d: 消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 自己評価 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。